



安心とつながるおのふ町のふたりの手をつなぐ

防災まちづくり瓦版

発行/一寺言問を防災のまちにする会

平成10年7月15日

いちでこととい

一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 則武 勝商
連絡先/墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

楽しきとおいしき すくすく有季園

一言会の人気事業の一つは、非常時の野菜栽培のトレーニングも兼ねた「向島有季園」です。

有季園(向島五)は、都会にも季節があることを誇るように、今年も、四季折々の花を咲かせ、野菜を実らせ、道行く人に優しく微笑みかけ、名実ともに、向島のオアシスとして定着しています。

無抽選で全員当選!

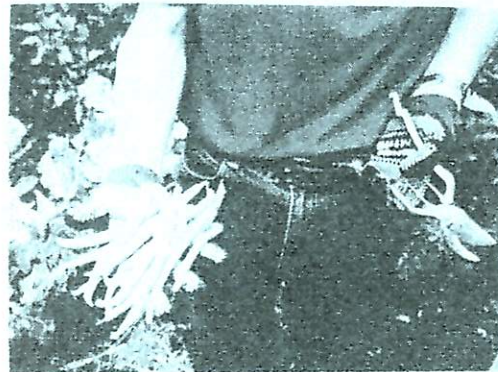
二月二十一日、「向島有季園」の新しい利用者が決まりました。今年も、十二区画に対し、十二件の応募でしたので、初めて無抽選で決定し、当日は、区画割当てのくじ引きをしました。

この日は、めつぼう寒い日でしたが、その後は早い春の訪れ、そして、長い菜種梅雨、初夏の好天と、作物の成育には絶好の季節変化で、利用者の皆さんはたくさん収穫を楽しんでいます。

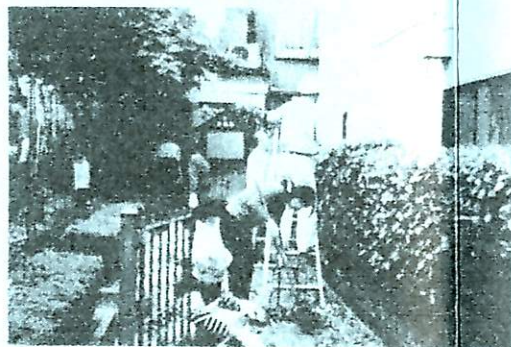
スカッとさわやか 生け垣剪定会

六月二十一日には、同園を取り囲む生け垣と、自慢のフジ棚およびマメザクラの「剪定会」を行いました。都会地にはどんな生け垣がふさわしいか、という実験場として、園の周囲には十種類の植物が植えられています。路地尊三号基の雨水を吸って青々と茂った生け垣は、利用者さん達の手でスカッと散髪され、みずみずしい香りを放ち、園の周辺はちよっとした森林の小道にいる気分となりました。

みんなでやればすぐ終わる
生け垣の刈り込みも
楽しみの一つと利用者さん

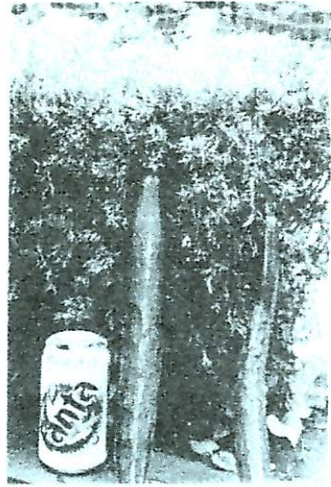


どじょういんげん
今夜はこれで一杯やる
なんてオツじゃありませんか



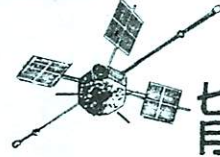
この記事の標題は
一言会副会長 増田さん(向5西)

今回(2年間)の
利用者さん
(順不同・敬称略)
田中 孝一 子
久保 田松 子
滝 田 子
今 村 邦 子
大 原 照 子
日 原 光 康 子
石 橋 正 子
前 植 竹 守 男
植 須 田 三 郎
金 山 濱 子
森 富 子



日本一のキュウリ
坪単価ン万円の土地でとれた
日本一高価な作物ばかりです
見てジュースの缶の二倍以上だあ

観測衛星



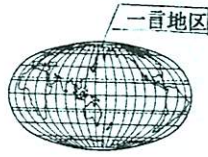
「地籍情報緊急整備事業」を学ぶ 七月一日 一言会理事会

東京二十三区内ではじめて
私たちのまち東向島三丁目
(宮元町会内)で「地籍情報
緊急整備事業」がはじまり
ました。

この事業は、国土庁の仕事で、神戸のように災害にあつたとき、まちの復旧を速やかに進めるため、道路(公道)の位置を最新鋭のGPS測量(人工衛星を使った測位システム)という測量技術を使って記録しておこうというものです。(簡単にいうと、みなさんの土地の測量杭が、北緯何度、東経何度というように記録され、たとえ地面や土地境界の杭

が動いても元の位置が再現できる方法です)具体的には、五月一日のNHKスペシャル番組で放映されたように、墨田区職員が住民立ち会いで道路の位置を確認し、その位置を地図上に記録するという作業です。理事会では、被災した神戸で、地境がはつきりせず、復興が遅れるなど大きな問題となつていことが話題となりました。

そのため、七月の理事会は担当の区職員や舞台となった宮元町会の皆さんと番組のビデオを見ながら、地境問題や事業の目的等について様々なお話しをうかがいました。



その40
一言会副会長

斉藤六一郎さん



平成8年東向一南町会の町会長に選ばれた。大正8年生れ、3才のとき本所松倉町から越してくる。翌年、関東大震災がおき、斉藤さんのご近所からも出火、自宅にあった井戸の水をかけて父上が火を消し止める。見渡すと空一面真っ赤にもえあがる光景は、4才の斉藤さんの脳裏に焼きついている。引越してこなければ、被服廠で死んでしまった。という思いがある。

昭和9年一寺小高等科卒業、理容師の免許をとる。国民皆兵で茨城零戦航空隊に入隊する。海軍の士官は長髪がみとめられており、理容技術者は大事にされた。

穴戸町のお寺に、母校、一寺小の生徒が集団疎開していることを知り、月一回の外出日を利用して約2年間、子供たちの散髪をしに通った。

生きて帰れたことを感謝し、消防団、町会、衛生保健協会の役員をひきうけ、町のため尽力する。

「防災モデル事業は終わったけれど、まちづくりは終われない。防災はつねに課題だからね。還暦をすぎしてから社交ダンスをはじめ、今も週一回練習にはげむ。若さの秘訣は、体を動かすこと。続けること。来年は傘寿(さんじゅ)をむかえられるそうだ。

なまずの一言



この頃、一言会館の路地尊等が非常ないたずらにあい、壊れるなどしています皆さんの力添えで、みんなで創り上げた施設です。子どもたちのいたずらでも、見かけたら、声をかけましょう。

まちへの提案など皆さんの声をお寄せ下さい。

ちを訪れ、まちづくりの成果を見学するともに交流を深めました。この夏も、いくつかの大きなグループが私たちのまちを訪れます。もし皆さんがまちで出会ったら、気軽に声をかけ、私たちのまち自慢をしましょう！

世界・全国が注目!! 私たちの「一言会のまち」

向島地区は、都会には珍しいほど、住み続けたいと願う住民が多いまちですが、震災には弱く、多くの改善すべき弱点のあるまちです。このような私たちのまちづくりに強力な助っ人が集まります。この催しは、私たちの向島地区を対象に「安全で快適な住まいとまち」「歴史や伝統を活かしながらの新しいまちづくり」をテーマに、まちづくりの英知とアイデアを集めようという試みです。参加者は、日本をはじめ、ドイツ、イタリア、韓国、シリア、トルコ、フランス、アメリカ等の、建築や都市計画を学んでいる大学生や専門家が、いくつかの課題毎にチームを組んで作業を進めます。期間は、七月十九日(日)から八月二日(日)まで、すみだ生涯学習センターや一言集会場・広場を会場として開催されます。特に、一言集会場では、図面や模型を作るための会場として、多くの方が作業を行い、行き来する予定です。皆さんのまちづくりの夢やアイデアも盛り込めるとステキですね。

◎問合せ先 マヌ都市建築研究所 龜山 (三八一六) 四〇三七



◎問合せ先 雨水利用自治体・市民フォーラム実行委員会事務局 (五六〇八) 六九二九

人々の輪を大切に、まちづくり活動を続けてきた、私たち一言会の地域が、今、世界から、全国から注目を浴びています。去る五月三十一日には、埼玉県野市から大戸北第二自主防災会の皆さん(五〇人)が、私たちのま

その一 「向島国際デザインワークショップ」

向島地区は、都会には珍しいほど、住み続けたいと願う住民が多いまちですが、震災には弱く、多くの改善すべき弱点のあるまちです。このような私たちのまちづくりに強力な助っ人が集まります。この催しは、私たちの向島地区を対象に「安全で快適な住まいとまち」「歴史や伝統を活かしながらの新しいまちづくり」をテーマに、まちづくりの英知とアイデアを集めようという試みです。



その二 「雨水利用自治体・市民フォーラム」

私たちのまちから生まれた、雨水利用の防災施設「路地尊」は、今や墨田区を代表するアイティムとなりました。さらに、雨水利用は、環境を守る運動の一環として全国に広がっています。この催しは、全国の自治体から、雨水利用・環境行政に携わる職員が集まり、行政としてどのような施策を進めたらよいのか知恵を出し合います。また、雨水利用に関心を持つ市民が集い、雨水利用の将来展望や運動の進め方や具体的な雨水利用の工夫の数々を披露します。

期間は、八月七日(金)から九日(日)まで、すみだリバーサイドホールなどで無料で開催されます。特に、九日の午前中は、現地視察として、多くの皆さんが私たちのまちを訪れます。また、この期間以外にも、八月四日、八日、区役所一階のアトリウムで、雨水利用の様々な工夫の展示があります。いづれに参加しても、これから雨水利用をしてみたいという皆さんにとっては、お徳用な催しといえます。



・「女性防災コンテスト27」惜しくも入賞を逃す

3月8日、向島消防署主催の防災コンテストが開催されました。堤通一、東向一南、宮元の各町会が参加。宮元の小鳩子供会チームが一点差で4位となりました。



・「十三番」巡幸

6月5日から7日は白鬚神社の例大祭でした。7日には、久しぶりに本社御輿の巨大な十三番が氏子町内を渡御し、父娘で仲良く担ぐ姿も見られました。



・アクアラインと潮干狩り

向五東町会では、5月10日に子供会ピクニックを開催しました。開通したばかりの東京湾アクアライン・海ほたると潮干狩りを53名が楽しみました。